チャレンジ工房news

第 129 号 2021年12月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ 編集責任者 川上 貴大

今年もお疲れ様でした

コロナ禍の収まらない中で始まった 2021 年は、東京五輪や衆議院選挙など色々なイベントが新形コロナの流行の中で行われ、その頃工房では Zoom 会議による座談会やカラオケ等のイベントを何度か試したりしていました。今は新型コロナウイルスの鎮静化が出来そうな状況と、新しい変異株でまた状況が悪化する可能性が同時に存在する状況ですが、工房としてはそろそろ久しぶりに Zoom 以外でのイベントも行いたいところですし、新しい所員を募集するにも外出への抵抗感の有無は大きいため、このまま終息してくれれば嬉しいところです。何にせよ、昨年度の年末年始は感染者数が大きく増えていたのを考慮しながら新年を迎える必要はありそうです。

今後の予定

12/30 (木) ~1/5 (水)

年末休暇

※1/6(木)からの営業再開となります。





改修工事前のトイレ

工房では、去年より良くないニュースが多くなったように思います。体調不良によって工房を辞める事になった所員さんがいたり、休養を余儀なくされたのは所員さんだけでなく曲所長もそうです。トイレの環境が問題になったり使用機器の限界が来たりと、比較的小さい事でもそういった話は今年になって出てきています。

ですが、喜ばしい事が何も無かった訳ではありません。ろくにイベントも開けなかった去年と違い、今年は Zoom を利用したオンラインでのイベントを何

度か行う事が出来ました。今いる所員さんとの

繋がりは深められたと思いますし、オンライン会議の経験を得て そちらの知識も深まりました。古かった設備や機器は新しくきれい なものに変える事が出来ましたので、それについては必要な出 資だったと言えるでしょう。悪い事が起こった時も、気分を 上向きに変える事ができれば、今の

時代でも前を向いて生きていく事ができるでしょう。皆さんが健やかに 新年を迎え、新しい年を楽しく過ごす 事ができれば幸いです。



Zoom によるオンラインイベント 工房の近くにある水明公園へバラを見に行きました。 今年は、東京パラリンピックに出場したアスリートの活躍などにより「パラスポーツや障害者の社会参加」の意義が明確化にされるなどの喜ばしいニュースがあった半面、コロナによる「外出自粛」や所員さんや私自身の体調不調が重なったり、私と広瀬さんと一緒に工房の発展を長年見守って頂いてきた K さんの突然のお別れあったりと、何か工房にとった

ら寂しいニュースの連続だった1年でした。



来年こそは、コロナ渦での生活が少しでも落ち着き、春には所員さん・スタッフ全員が集まり、水明公園の桜の下で和気あいあいと花見会を開催している楽しい話題やスタッフ・所員ともにパソコン検定や MOS 試験などの資格取得に取り組んだり、みんなでカレンダー制作やオリジナル自主製品の開発等に取り組む前向きで活気ある一面を多く、皆様にお届けできればと思っております。今年もお世話になり、ありがとうございました。

皆様、良いお年をお迎えください。

所長 曲圭子

年の瀬に思うこと

広瀬 徹

2021 年ももうすぐ終わります。

| 今年は市民活動にとってもパソコン工房にとっても「真逆(まぎゃく) | の年でした。

孤立を見過ごさず、連携を求める

-> 感染を防ぐため、できるだけひとと接しない。

こんなときだからこそ、コンピュータの基礎研修やNPO会計基礎にじっくり取りくむ

ー> プラザなどの公的機関は感染防止のため、開館中止。身障会館も宣言中は閉館。

散歩がてらに工房へ寄り、やわらかい研修をする。

-> こんな時に外出して勉強せなあかんほどの「コンピュータの勉強って不要不急のこと?」と聞かれると外出 しにくい。

顔を合わせて、相談事や雑談をかわしたい。

-> 人と人が出会わないようにするのが一番のコロナ感染予防です。

こんな「市民活動と真逆」のことを強いられたことを胸に止めておきましょう。なんのきがねもなくパソコン工房の活動が行えるようになったとき、このことを思い出して日常を大切にしましょう。

今まで当たり前と思ってきたこれらのことを大切に活動を再開しましょう。それまで、スタッフの踏ん張りと、Zoomによるオンライン研修と、メールと携帯による会話のつながりで何とか活動を続けていきましょう。

スタッフ一同も頑張ります。